

発行
2023年3月
No.36

日本プライマリ・ケア連合学会 北海道ブロック支部 ニュースレター

発行人
支部長 木佐 健悟
北海道ブロック支部事務局
(市立美唄病院内)
TEL:0126-63-4171
mail:hpca.jimukyoku@gmail.com



北海道プライマリ・ケアオンラインフォーラムの実行委員の皆様



実行委員長 湯浅駿先生

2月11日に北海道プライマリ・ケア オンラインフォーラムを開催しました

日頃よりお世話になっております。北海道プライマリ・ケア オンラインフォーラムの実行委員長を務めております湯浅駿と申します。

2023年2月11日に北海道プライマリ・ケア オンラインフォーラムが開催されました。新型コロナウイルス感染症の流行拡大に伴い開催を断念した2022年11月のプライマリ・ケアフォーラムの一部をオンラインに切り替えての開催となりましたが、全道から100名近くの方に参加して頂き各々が学びを深めることができるフォーラムとなりました。

「ACP」「四分割カンファレンス」「所長交代・教育」「オンライン診療」「薬剤師企画」と様々なテーマのワークショップで講師の方にご講演を頂きました。画面越しにはありますが参加者のプライマリ・ケアへの熱の高まりを感じることができる素敵な内容でした。

来年度は実行委員長を函館稜北病院の舩森悠先生に引き継ぎ、第10回北海道プライマリ・ケアフォーラムを開催できるよう実行委員一同準備を進めて参ります。今後ともご支援をよろしくお願いいたします。

ワークショップ一部 (14:10~15:50)

- WS1 **グループワークあり**
臨床倫理4分割表を用いた
多職種カンファレンスをやってみよう 勤医協中央病院総合診療科 臺野 巧 先生
- WS2
オンライン診療:黒船か福音か?
プライマリ・ケアの未来へ直言。
オンラインでも、行きまーす! 緑町診療所 稲熊 良仁 先生

ワークショップ二部 (15:20~17:10)

- WS3 **グループワークあり**
ACPは聴くだけじゃない、
多職種との連携に使うんだ! 手稲家庭医療クリニック 松本 美奈 緩和ケア認定看護師
- WS4
院長・所長ってどんな風になるの?
~寿都診療所継承の経験を通して~ 北海道家庭医療学センター 中川 貴史 先生
今江 章宏 先生
堂坂 瑛子 先生
- WS5 **グループワークあり**
多職種で実践!
患者協働促進ツール
(J-PEPT) 青木 拓也 先生 栗原 健 先生
【teach back/薬剤リスト編】 安本 有佑 先生 山口 章江 先生

編集前記

こんにちは。今回ニュースレターの編集を担当しました、山口です。

北海道も少し春の気配が感じられるようになってきました。春が待ち遠しいです。

もうすぐ年長になる息子が折り紙に夢中なので、折り紙作家の作品を集めた『新世代 究極のおりがみ』（山口真 西東社）という本を購入してみたところ、初級レベルの「うさぎ」も完成できずに、おりがみの奥深さに驚愕しています。史上最高難度の「死神」は工程数400越え。私は、二日間かけて、わずか40工程ほどで挫折しました。挑戦者求む！

トピック①

支部会員リレーコラム
今回は理学療法士の小林英司先生にコラムをお願いいたしました。

トピック②

第10回北海道地方会は2023年6月24日（土）に開催いたします。各企画の内容が決まりましたのでご紹介いたします。
木佐支部長からのご報告があります

トピック③

- WEB ポートフォリオ検討会を開催しました
- 札幌医科大学で総合診療を学ぶ学習会を開催しました
- 薬剤師部会定例会を開催しています



初冬の三角山 山頂から札幌市街方向を望む

トピック①

支部会員リレートーク

小林 英司 (日本医療大学 保健医療学部 リハビリテーション学科)



理学療法士です。15年間の臨床の後、大学勤務で6年経ちました。日本医療大学には今年度から勤務しています。リハビリテーションの臨床目線に立った、地に足のついた研究をモットーにしていますので、プライマリ・ケアから吸収できることがたくさんあります。

日本医療大学保健医療学部の小林英司です。理学療法士として、卒後から主に病院での脳卒中や神経疾患のリハビリテーションを専門としてきましたが、10年ほど前からは訪問リハにも携わり、障害を持ちながら暮らすことの多様さ、そしてそれを支援する側の視点に面白さを感じ、プライマリ・ケアと接点を持つようになりました。

支部の活動を始めてまだ6年目で経験は浅いのですが、2020年から現在まで北海道地方会の実行委員にご指名いただき、楽しく活動させてもらっております。ただ、実行委員になった途端にコロナ禍に突入、地方会も過去2回はオンライン開催となり、直接お目にかかっていない会員の方も多いと思います。今後の地方会で対面開催が実現できた際には、皆さんと会って直接目を見て話したいと願って止みません。

私の勤務している日本医療大学保健医療学部は、2021年4月に札幌市豊平区月寒にキャンパスを新築移転し、看護、リハビリ(理学・作業療法)、臨床検査、放射線、臨床工学の5学科体制です。大学としてはまだまだ新参で、やるべきことはたくさんありますが、キャンパス内に附属病院と通所・入所リハビリテーション施設を持つ道内でも珍しいタイプの大学で、この環境を活用した研究や教育の拡がりが出てくると思います。



スミレ

私は山が好きで、でも都市も好きなので、札幌の街はとても気に入っています。自宅から割とすぐ登れるところに三角山(311m)があります。ゆっくり歩いても20分程で山頂なので、季節を問わず気の向いた時に登ります。特に早春のエゾエンゴサクの小群落(スプリング・エフェメラル、春の妖精)や、厳冬期の山頂からの市内の夜景には癒されます。夏は時々直登コースを走って登り、一人タイムトライアルをします。16分が最短記録です。不思議なことに、翌日適当に歩いて登っても16分で頂上に着ることが多いです。これって、なぜなのでしょう？私程度の脚力では、平地とは異なり、思ったより坂道を走れていないのかもしれませんが、もしそうだとしたら少し悔しいですね。同じような経験のある方はいませんか？

これからは、リハビリテーション職の立場からもプライマリ・ケアに貢献したいと考えています。よろしくお願いいたします。



早春の三角山 エゾエンゴサクの群落



夏の三角山 登山道と私

トピック②

第10回北海道地方会

「持続可能な地域医療をめざしてーコロナ禍を経て、いま考えるー」

実行委員長：佐々尾 航（北海道立羽幌病院）

2023年6月24日（土）に開催する第10回北海道地方会について、先日会員の皆様に第1報として案内をお送りさせていただきましたが、ご覧いただきましたでしょうか？今回のテーマ「持続可能な地域医療をめざして」としてありますが、それに沿った企画を用意させていただいております。今回は各企画を少しずつご紹介いたします。

一般演題は、プライマリ・ケアに関する学術報告、症例報告、活動報告、専門研修の専攻医や認定薬剤師のポートフォリオを発表いただきます。ポスター・口演がありますので、ぜひ積極的な応募をお待ちしております。

企画は4つ準備しております。

パネルディスカッションは寿都町の事例を紹介いたします。地域の関係者間の信頼関係を基に状況に合わせた再構築が実践されています。関係者にパネリストとして登壇いただき、具体的なお話を聞かせていただきます。

ワークショップは昨年引き続き「神経難病の緩和ケア」を取り上げます。難病を抱える方も安心して過ごせる共生社会を目指すことも持続可能な地域医療に必要です。神経難病の疾患経過、その経過で求められるケアを学ぶ機会になるかと思っております。

カフェ企画は例年と少し趣を変え、地域活動を紹介します。医療従事者が積極的に地域活動に取り組み、地域のつながりを作り出そうとしていますが、そんな活動を聞ける機会になります。

シンポジウムは臨床研究を取り上げます。地域医療でも当然臨床的な疑問に遭遇します。臨床研究にどうやって取り組むのか一歩目を踏み出したい方には必聴の企画です。

基調講演は「地域をもっと楽しむための地域志向アプローチのエッセンス」と題して、福井大学の井階友貴教授に講演いただきます。地域活動の第一人者と言っても過言ではありませんが、コロナ禍でも楽しく地域と向き合って楽しまれていらっしゃいます。健康のまちづくりの一端をお聞かせいただく予定です。

そして今回は会費無料となります。先号で支部長のコラムでも議論の経過の一端に触れていますが、2019年以来4年ぶりの現地開催となり、多くの皆様に参加いただきたいこと、プライマリ・ケアの裾野を広げたいことなどを踏まえたものです。ぜひ、会員・非会員問わず、お誘い合わせの上ご参加いただければと思います。皆様とお会いできることを楽しみにしております。

多職種でプライマリ・ケアを学ぶ
JPCA第10回北海道地方会

持続可能な地域医療をめざして
コロナ禍を経て、いま考える

2023年6月24日(土) 13:30-17:00

参加費無料

13:30- 開会式 13:40- 総会
14:00- 一般演題（口演・ポスター発表）
15:10-

16:55- | 基調講演 | (オンライン配信あり)
「地域をもっと楽しむための
地域志向アプローチのエッセンス」
福井大学医学部地域プライマリケア講座教授 井階友貴 先生

第10回地方会の詳細は
[ホームページ](#)をご覧ください

2025年のJPCA 学術大会は北海道で開催します！



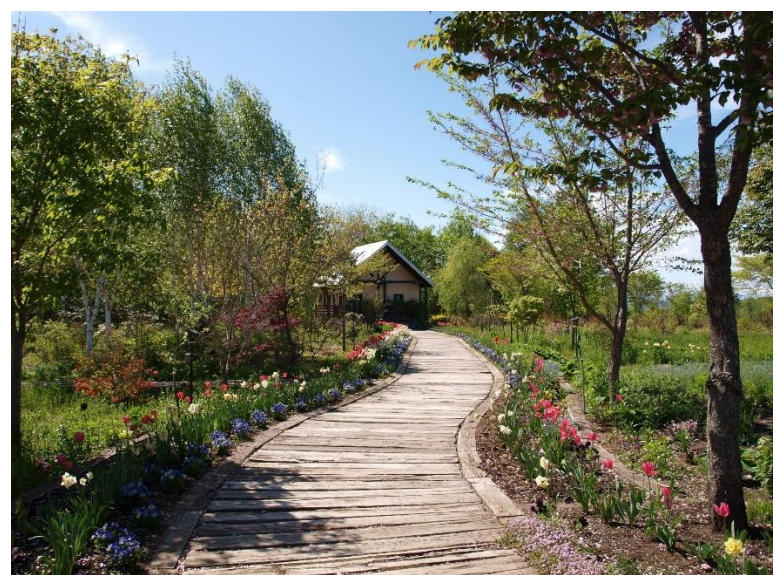
北海道ブロック支部長の木佐です。

次の支部の大きな行事は6月24日(土)の北海道地方会です。久しぶりの現地開催で皆様とお話できる機会になるよう、予想外の出来事が起きないことを祈っております。

2023年は愛知県豊田市・名古屋市で、2024年は静岡県浜松市で開催される日本プライマリ・ケア連合学会の学術大会ですが、2022年11月の理事会で、2025年の学術大会の大会長を木佐が務めることが決まりました。

2011年の第2回学術大会以来、久しぶりに北海道で学術大会を開催します。これから北海道のメンバーを中心に実行委員会を組織して、準備を進めていきます。具体的な段取りが見えてきたら、支部会員向けにメーリングリストでご案内しますので、何らかの形で学術大会に関わりたいという方は、そのタイミングでぜひ意思表示をお願いいたします。（なお、学術大会は北海道ブロック支部の事業ではありませんので、ブロック支部への問い合わせはしないようにお願いします。）

また、学術大会の開催に伴い、例年6月に開催している北海道地方会については、2025年度は中止することを2023年2月4日(土)の幹事会で決定しました。一般演題の応募を考慮しておられた方は、学術大会あるいは別の機会での発表をご検討ください。



春の十勝ヒルズ

トピック③ 各種活動報告

WEB ポートフォリオ検討会を開催しました

ブロック支部の役割として、新専攻医オリエンテーションやサイトビジットにおける対面でのポートフォリオ検討会と同様に、「道内の少数専攻医プログラムの教育支援、プログラム間の相互学習・交流促進」を目的としています。

今年度は1月31日と2月8日の2回に分けて、平日18時から各1時間ずつZoomを用いて実施しました。各専攻医の発表テーマは表のとおりです。

各プログラム指導医にもご参加いただき、私と加藤聡一郎先生（道東勤医協釧路協立病院）で司会を担当しました。

倶知安厚生病院 大井利起先生

「メンタルヘルス」

更別村国民健康保険診療所 八島駿先生

「患者中心の医療」

倶知安厚生病院 横山誓也先生

「人生の最終段階におけるケア」

道立羽幌病院 山崎孝明先生

「患者中心の医療」

感想として、どの先生方も各々のセッティングで患者さんの個性に合わせた丁寧な診療と、その経験に基づく深い考察・振り返りがすでにできており、道内各地での専攻医教育の質の高さを実感しました。また、他施設の専攻医・指導医からフィードバックをもらうことで、さらに視野を広げる貴重な機会になったのではと思います。

今後もこのような機会を生かして、オール北海道で家庭医療専門医・総合診療専門医の育成の底上げに貢献できれば幸いです。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

ブロック支部若手医師学生支援委員会
寿都町立寿都診療所 今江章宏

札幌医科大学で総合診療を学ぶ学習会を開催しました

2023年3月10日に札幌医科大学において、学生向け学習会を開催しました。学会ブロック支部では、三医大学生向けの総合診療を学ぶ学習会を以前より企画、実施しており、コロナ禍で一時オンラインで行なうなどされていましたが、今回久しぶりに現地で開催いたしました。

今回は、学生の希望で「臨床推論」をテーマとし、北海道家庭医療学センター向陽台ファミリークリニックの院長である中島徹先生に講師をお願いし、「病歴と身体診察で迫る！クリニックにおける臨床推論」と題して講演を行いました。

4年生と5年生合わせて12人が参加し、途中ではグループディスカッションも織り交ぜながら進めました。ファシリテーターを担いましたが、学生の鑑別のあげ方、検査や治療方針の立て方が、とても学生とは思えない展開で、クリニックという限られたセッティングも踏まえ、医学的な適応や、患者や家族の想いも踏まえながら、診断的治療にも言及するなど、すばらしいなと感じました。私自身の学生時代が恥ずかしい限りです…。

最後には、総合診療に関する質疑応答の時間も設けて、訪問診療の実態や、キャリアのことなど、様々な質問に、中島先生や、ファシリテーターとして参加して下さった大久保彩織先生、今回企画に協力いただいた札幌医大総合診療医学講座の神野敦先生、私から回答しました。大変盛り上がり時間オーバーしてしまいましたが、終了後も質問が飛び交うなど充実した会となりました。

このような学習会が以前からあることを早く知りたかったという声もいただきました。今後は総合診療や家庭医療のキャリアに関する講演や、臨床推論の話をもっと企画してほしいと希望もいただきました。

次年度以降は、年に2回開催を予定しております。

今回、札幌医科大学卒業である中島先生、大久保先生に御協力いただき、誠にありがとうございました。今後はOBの先生で企画に協力いただける先生がいらっしゃいましたら、ぜひご連絡ください。よろしくお祈りします。

企画には、札幌医科大学総合診療医学講座の辻教授をはじめ、講座の皆様にも御協力をいただきました。紙面をお借りして厚く御礼を申し上げます。

ブロック支部副支部長
北海道立羽幌病院 佐々尾航



薬剤師部会活動しています

北海道ブロック支部では、薬剤師会員同士の交流とプライマリ・ケア認定薬剤師についての相談先、薬学生へのプライマリ・ケア認定薬剤師制度の啓蒙などを目的として、5人の幹事が中心となって薬剤師部会の活動を行っています。

主な活動は、2か月に1回開催している定例会です。毎回21時からという深い時間にも関わらず、薬剤師、薬学生合わせて15名前後が参加して、その日のテーマについて学習と参加者同士のディスカッションをしています。

今後は、プライマリ・ケア認定薬剤師の更新の際のポートフォリオの相談などでもできるような体制を整えたいと考えています。

2022年度定例会テーマ

6/1	第13回JPCA学術大会直前！薬剤師におすすめの企画、演題はこれだ！
7/20	薬剤師も知っておきたいワクチン・アップデート
9/21	プライマリ・ケア認定薬剤師の病院見学実習で学ぶべきこと
1/19	薬剤師が支援するPatient Engagementとは
3/15	プライマリ・ケア×薬局経営～独立したプライマリ・ケア薬剤師～



また、北海道ブロック支部薬剤師部会のFacebookグループでも情報交換を行っておりますので、ご興味のある方はリクエスト申請をお願いいたします。

北海道ブロック支部薬剤師部会
十勝勤医協帯広病院 山口章江

その他のお知らせ

① 道庁補助事業について

現在新型コロナウイルス感染症の拡大に伴いあまり利用がありませんでしたが、現在も地域医療体験実習のための費用助成を継続中です！ぜひ医学生の方はご利用いただければと思います。

<https://jpc-hokkaido.jp/%e4%bd%93%e9%a8%93%e5%ae%9f%e7%bf%92%e3%83%bb%e6%96%bd%e8%a8%82%8b%e8%b2%bb%e7%94%a8%e5%8a%a9%e6%88%90%e3%81%ab%e3%81%a4>

② ブロック支部内部組織及び活動状況について

現在、広報委員会、若手医師・学生支援委員会、薬剤師部会が各々活動&計画中です。引き続き情報があれば随時共有していきます。まだ北海道ブロック支部のFacebookのご登録をされていない方々もぜひ登録を！

<https://www.facebook.com/Hokkaidoprietarycare/>

③ 支部の予算について

新型コロナウイルス感染拡大により、昨年度事業をあまり行うことができなかったため、内部留保があります。このため来年度の北海道地方会は無料としております。

北海道ブロック支部としては今後、支部活動をアピールしていくための施策を検討しております。アイデアをお持ちの方はブロック支部事務局までご意見お寄せください！

北海道ブロック支部事務局 Email
hpca.jimukyoku@gmail.com